



平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 物語コーポレーション

コード番号 3097 URL <http://www.monogatari.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・COO

(氏名) 加治 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長

(氏名) 高津 徹也

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

TEL 0532-63-8001

平成24年3月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	8,836	14.2	850	19.1	876	19.5	473	39.2
23年6月期第2四半期	7,732	26.9	714	65.3	732	64.4	340	55.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	95.77	95.48
23年6月期第2四半期	80.25	79.64

(注)当社は、平成22年12月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を実施しましたが、前期首の当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第2四半期	9,969	4,466	44.6
23年6月期	9,869	4,037	40.8

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 4,455百万円 23年6月期 4,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	9.00	—	12.00	21.00
24年6月期	—	11.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成23年6月期期末配当金の内訳 普通配当金10円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,847	19.7	1,478	23.7	1,500	21.8	763	43.9	154.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年6月期2Q	4,952,282 株	23年6月期	4,935,182 株
② 期末自己株式数	24年6月期2Q	748 株	23年6月期	714 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年6月期2Q	4,951,534 株	23年6月期2Q	4,237,941 株

(注)当社は、平成22年12月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、平成24年2月9日付にて、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割についてのご注意)

当社は、平成22年12月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原発事故による放射能問題の影響に加え、欧州債務危機や急激な円高の進行、タイで発生した大洪水による企業収益の圧迫懸念などにより、雇用環境・所得環境の悪化が続き、先行き不透明な状況で推移しました。

外食業界におきましては、消費者の生活防衛意識の高まりにより低価格・節約志向が強まっており、経営環境は依然として厳しくなっております。

このような状況の中で当社は、直営店の新規出店及びフランチャイズ加盟企業の獲得により業容の拡大を図りながら、経営目標である「お客様の心のリラックス」を実現するために、当社の強みであり接客の基本である「とびっきりの笑顔」と「心からの元気」の実践を徹底し、顧客満足の向上を図ることで既存店舗の業績向上に取り組んで参りました。また、成長力のある業態を中心とした新規出店及び改装を推し進めるとともに、食べ放題メニューの導入などの既存顧客の満足度を高める活動や、新規顧客獲得のためのメディアを通じた販売促進活動など、ブランドの確立に努めて参りました。さらに、愛知県小牧市に物語フードファクトリー（製麺工場）を設立し、「丸源ラーメン」及び「二代目丸源」で使用する麺の供給を開始しました。

店舗展開につきましては、直営店において6店舗の新規出店と4店舗の閉店を、フランチャイズ店において18店舗の新規出店と3店舗の閉店を実施いたしました。これにより、当第2四半期会計期間末におけるチェーン全体の店舗数は230店舗（直営店99店舗、フランチャイズ店131店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高8,836,905千円（前年同期比14.2%増）、営業利益850,942千円（前年同期比19.1%増）、経常利益876,225千円（前年同期比19.5%増）、四半期純利益473,674千円（前年同期比39.2%増）となりました。

当第2四半期累計期間におけるセグメント別の概況については、当社の事業は単一セグメントでありますので、その概況を部門別に示すと次のとおりであります。

焼肉部門におきましては、4店舗の新規出店と1店舗の閉店を実施し、売上高5,015,551千円（前年同期比21.1%増）となりました。

ラーメン部門におきましては、2店舗の新規出店と1店舗の閉店を実施し、売上高1,597,880千円（前年同期比4.4%増）となりました。

お好み焼部門におきましては、2店舗の閉店を実施し、売上高872,786千円（前年同期比3.8%減）となりました。

専門店部門におきましては、売上高366,899千円（前年同期比5.2%増）となりました。

フランチャイズ部門におきましては、焼肉業態において8店舗の新規出店を実施し、ラーメン業態において9店舗の新規出店と2店舗の閉店を実施し、お好み焼業態において1店舗の新規出店と1店舗の閉店を実施しました。売上高については、加盟契約店舗数の増加による売上ロイヤルティ収入の増加等により、983,787千円（前年同期比21.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は9,969,799千円となり、前事業年度末と比較して100,150千円の増加となりました。これは主に売掛金が増加したこと及び設備投資により有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債は5,503,797千円となり、前事業年度末と比較して328,810千円の減少となりました。これは主に長期借入金が増加したこと等によるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産は4,466,001千円となり、前事業年度末と比較して428,961千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであり、自己資本比率は44.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末と比較して454,352千円減少し、2,429,740千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は1,000,406千円（前年同四半期は1,089,303千円の獲得）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益が887,914千円あったこと及び減価償却費317,339千円によるキャッシュ・フローの増加等を反映したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は1,014,633千円（前年同四半期は378,238千円の使用）となりました。

これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が872,508千円あったこと等を反映したものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は440,124千円（前年同四半期は464,770千円の使用）となりました。

これは主に、借入金の返済が486,336千円あったこと等を反映したものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の業績予想につきましては、平成24年1月20日に公表しました内容に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準を適用しなかった場合の、前第2四半期累計期間の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、以下のとおりであります。

1株当たり四半期純利益金額 80円25銭

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 79円58銭

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 6 月 30 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 885, 099	2, 630, 746
売掛金	205, 887	320, 154
商品及び製品	106, 353	122, 039
原材料及び貯蔵品	14, 141	18, 434
その他	386, 564	332, 250
貸倒引当金	△62	△96
流動資産合計	3, 597, 983	3, 423, 530
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3, 165, 472	3, 371, 010
その他（純額）	1, 311, 976	1, 305, 803
有形固定資産合計	4, 477, 448	4, 676, 813
無形固定資産	71, 672	70, 797
投資その他の資産		
差入保証金	1, 352, 618	1, 323, 280
その他	372, 082	477, 479
貸倒引当金	△2, 157	△2, 101
投資その他の資産合計	1, 722, 543	1, 798, 658
固定資産合計	6, 271, 665	6, 546, 269
資産合計	9, 869, 648	9, 969, 799
負債の部		
流動負債		
買掛金	435, 190	647, 458
短期借入金	153, 600	173, 320
未払法人税等	353, 218	403, 079
株主優待引当金	12, 086	14, 927
その他	2, 092, 606	1, 640, 208
流動負債合計	3, 046, 702	2, 878, 993
固定負債		
長期借入金	1, 863, 570	1, 618, 309
退職給付引当金	142, 293	165, 547
役員退職慰労引当金	170, 790	173, 940
資産除去債務	101, 175	108, 195
その他	508, 078	558, 811
固定負債合計	2, 785, 906	2, 624, 804
負債合計	5, 832, 608	5, 503, 797

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 6 月30日)	当第 2 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,096	1,186,749
資本剰余金	1,059,600	1,059,600
利益剰余金	1,795,918	2,210,379
自己株式	△911	△954
株主資本合計	4,030,704	4,455,774
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△321	△657
評価・換算差額等合計	△321	△657
新株予約権	6,657	10,884
純資産合計	4,037,040	4,466,001
負債純資産合計	9,869,648	9,969,799

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	7,732,493	8,836,905
売上原価	2,320,771	2,705,967
売上総利益	5,411,721	6,130,938
販売費及び一般管理費	4,697,443	5,279,996
営業利益	714,278	850,942
営業外収益		
受取利息	6,025	5,235
受取配当金	54	54
協賛金収入	41,769	40,841
その他	5,495	9,171
営業外収益合計	53,345	55,302
営業外費用		
支払利息	28,978	21,953
貸倒引当金繰入額	2,489	—
その他	3,502	8,066
営業外費用合計	34,970	30,019
経常利益	732,653	876,225
特別利益		
店舗売却益	—	58,012
特別利益合計	—	58,012
特別損失		
固定資産除却損	12,853	12,575
減損損失	—	31,247
店舗閉鎖損失	54,063	2,500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,651	—
その他	1,823	—
特別損失合計	109,393	46,323
税引前四半期純利益	623,259	887,914
法人税等	283,163	414,239
四半期純利益	340,096	473,674

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	623,259	887,914
減価償却費	267,539	317,339
株式報酬費用	2,354	4,227
減損損失	—	31,247
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,500	△21
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	3,589	2,840
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,040	23,254
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,800	3,150
受取利息及び受取配当金	△6,080	△5,289
支払利息	28,978	21,953
店舗売却損益 (△は益)	—	△58,012
有形固定資産除却損	12,170	8,618
投資有価証券評価損益 (△は益)	715	—
店舗閉店損失	50,942	2,500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,651	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△43,110	△114,266
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△26,945	△21,462
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△33,845	3,709
仕入債務の増減額 (△は減少)	182,655	212,267
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,504	△8,375
未払費用の増減額 (△は減少)	98,347	84,542
その他の負債の増減額 (△は減少)	36,019	△119,004
預り保証金の増減額 (△は減少)	31,500	69,682
その他	△5,751	6,556
小計	1,300,835	1,353,370
利息及び配当金の受取額	78	79
利息の支払額	△28,527	△21,779
法人税等の支払額	△183,083	△331,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,089,303	1,000,406

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 7 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成23年 7 月 1 日 至 平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△0	△200,000
関係会社出資金の払込による支出	—	△61,620
有形固定資産の取得による支出	△352,725	△872,508
有形固定資産の売却による収入	6,721	—
店舗売却による収入	—	126,385
無形固定資産の取得による支出	△2,048	△6,085
差入保証金の差入による支出	△66,379	△25,598
差入保証金の回収による収入	44,548	102,477
貸付けによる支出	—	△77,380
その他	△8,354	△304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△378,238	△1,014,633
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	19,720
長期借入れによる収入	120,000	80,000
長期借入金の返済による支出	△561,436	△486,336
割賦債務の返済による支出	△5,635	△5,717
株式の発行による収入	17,538	10,494
自己株式の取得による支出	△245	△43
配当金の支払額	△34,992	△58,242
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,770	△440,124
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	246,293	△454,352
現金及び現金同等物の期首残高	1,868,979	2,884,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,115,273	2,429,740

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は飲食店事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。